

特定非営利活動法人
はちみつ

は
ち
みつ
は
ち
みつ

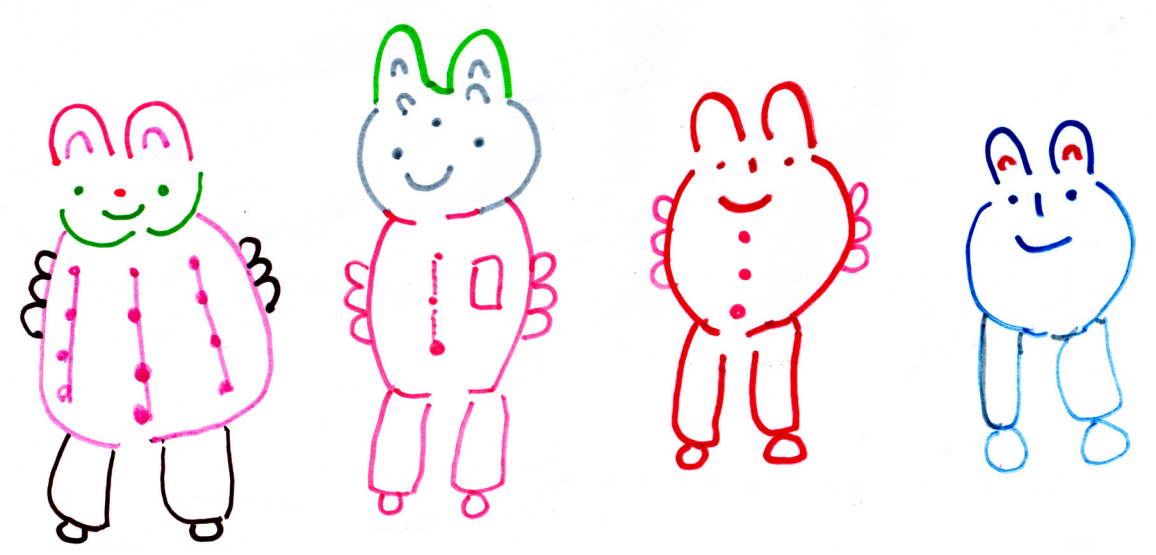
ごあいさつ

地域福祉情報冊子『はちみつぶんぶん』の発刊にあたって

この冊子は、四街道市内の障がい福祉事業所や地域で活動している団体の情報を発進するための冊子です。

2019年、当法人は地域やたくさんの方々に福祉を知ってもらうための啓蒙活動の一環として、『ハフェス』というイベントを主催しました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大を受け、この2年間はほとんどのイベントや行事等を自粛しなければならず、当然、『ハフェス』も中止致しました。コロナ禍でも、『ハフェス』に代わって、地域に福祉や障がいの事を知ってもらえるには？発信していくには？どうしたらよいのかと考えた結果、『はちみつぶんぶん』が誕生しました。

はちが花のみつを集めるように、市内の仲間たちの情報を集めたこの冊子が、少しでも地域の方たちに、福祉や障がいについて、そして地域で活動している団体のことを、伝えられたら望外の喜びです。



土也域の仲間たち

地域にはたくさんの福祉事業所や福祉団体があります。

『はちみつぶんぶん』では、主に四街道市福祉関係機関連絡会^{※1}に所属しているほんの一部の事業所と団体をご紹介します。

※1 令和2年12月3日に、障がいがあっても地域の中で共に暮らし、笑顔で生活を送ることができる地域共生社会の実現を目指すために、四街道市福祉関係機関連絡会が設立されました。

認定NPO法人 たすけあいの会ふきのとう

所在地 四街道市四街道1521-19

電話 043-424-0233



“みんないっしょに地域で暮らしたい”この願いを実現したくて、ふきのとうは1988年たすけあいの会をつくりました。自宅で過ごすおとしより、障害を持つ方、療養中の方たちの自立した生活とご家族の生活の応援、そして子育て支援等あらゆる手助けを必要とする方たちの応援をしています。たすけあい活動を続けながら、介護保険や障害福祉サービ

ス等の制度事業も実施しています。たすけあい活動だけでも、制度だけでも支えきれない日々の暮らしをお手伝いしています。旭ヶ丘には、みんなの家ばお、みんなの家さら、二か所のデイサービスも実施しています。無償活動である、コミュニティ喫茶や施設への訪問喫茶も20年を超える活動になります。

<http://fukinoto0233.sakura.ne.jp/>

四街道市 手をつなぐ親の会

所在地 四街道市千代田3-15-15（会長宅）

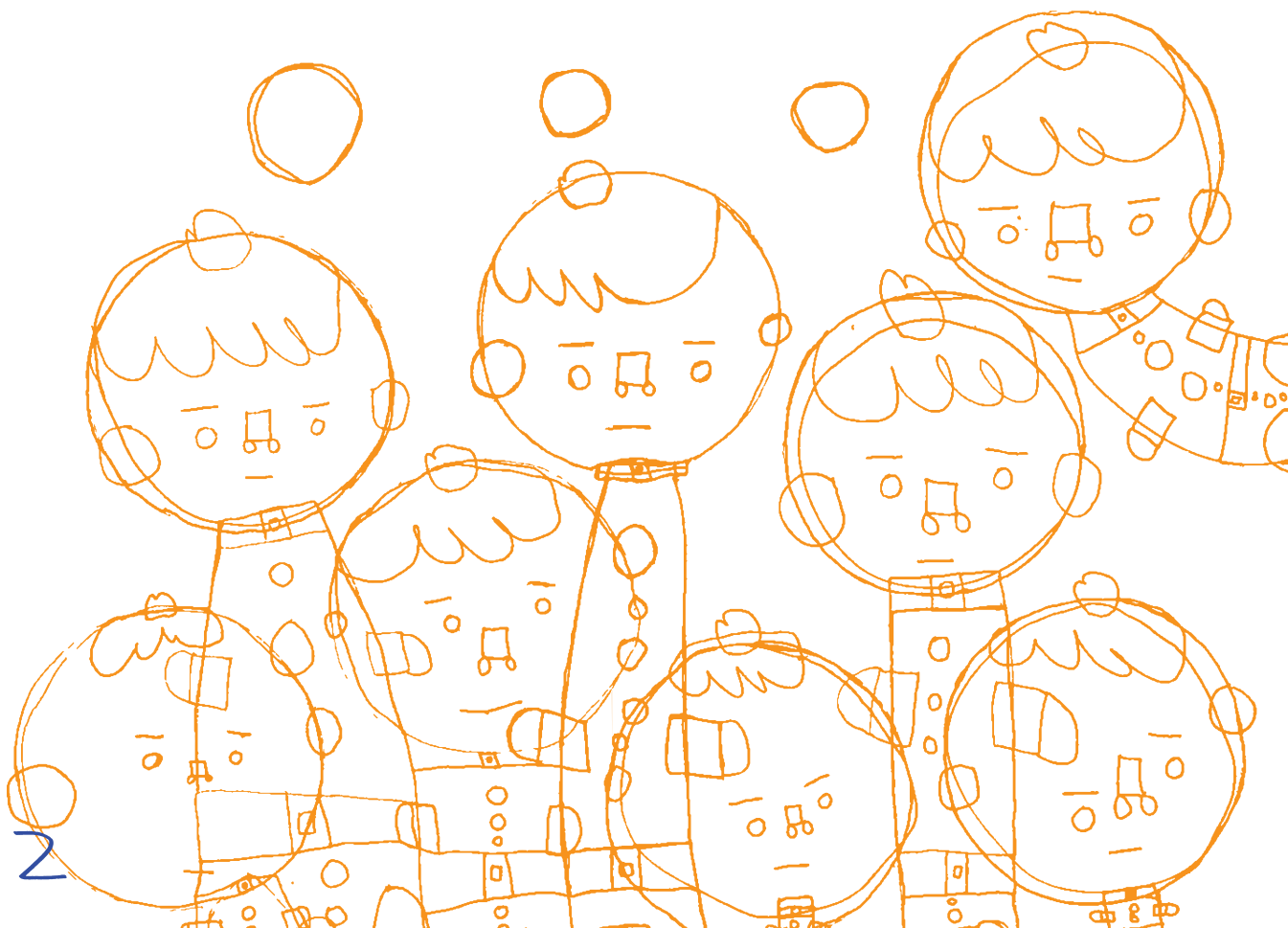
電話 043-423-6279



昭和34年4月8名の有志により「四街道町手をつなぐ親の会」が誕生しました。当時は精神薄弱者と言われ、何もない時代でした。親たちは、障害のあるわが子のため勉強会を行い、啓発活動、教育の受けられる場の確保、施設見学、入所施設・作業所の確保など行政への働きかけなどの活動を行ってきました。現在も、障害のある子供達でも、その人らしく「豊かに安心して暮らすことができる」よ

うに、行政・市内事業所と緊密な連携をとり、親同士の悩みを話しあい、教育・日中活動の場・居住の場・余暇活動の充実などを考え共に活動をしております。

本人活動は千葉大生との交流会（年20回位）、ワイワイクッキング（月1）他。親の活動は研修会（随時）おしゃべり会（月1）などの活動を行っています。



クレパスの会

所在地 四街道市めいわ3-20-19
電話 043-433-2557
営業日時 定例会 第4火 10時～12時



日頃の子育ての悩みや困っていることを解決へ向けてみんなで考える場が欲しい、関係機関や地域の理解と支援の輪を広げたいと様々な思いをかたちにしようと平成19年4月に発足した親の会です。毎月第4火曜日に南部総合福祉センターわろうべの里2階会議研修室にて定例会を行っています。幼児から社会人で心身にハンディキャップのある子、発達の気になる子の親が集まり、親

睦を深め、親自身が勉強をして知識を広げたり、障がい児・者対策の充実のため関係機関への働きかけなどを行っています。

子育てサポートてとて

運営法人 マイルストーン株式会社
所在地 四街道市鹿渡592-1
電話 090-4520-5804
営業日時 イベント開催時に営業 問合せは随時受付



障がいがある子もない子と一緒に過ごせる居場所を作りたい。そんな思いで2018年に市民団体「てとて～つながる支援の輪～」を発足しました。どんな子でも参加できるインクルーシブな環境と保護者や地域に向けて勉強を開催しています。2021年、団体名を「子育てサポートてとて」に変更しました。現在の主な活動は、未就園児のお子さんを持

つ親子向けに自然の中で一緒に子育てを楽しむ「おやこのわ（月2回）」や子どもと大人が横のつながりとともに過ごすあそび場「あそびのわ（月1回）」、親御動しが気軽に話せるような機会をサポートしている「わかちあいのわ（月1回）」など。

https://peraichi.com/landing_pages/view/kosodatesapotetote/

Tea For Two

所在地 四街道市大日875-7
電話 043-424-5351

Tea for twoは「いのち」と「くらし」を大切にし、よりよい福祉について考えるための活動を行っています。2009年の設立以降、定期的に集会を開きながら試行錯誤を重ねてきました。近年は、年に3回シンポジウムや舞台イベントを開催しています。3月に行うシンポジウムでは、音楽を交えて平和を呼びかけています。7月には障害の有無にかかわ

らず様々な方と創り上げる舞台イベントを四街道市南部総合福祉センター「わろうべの里」で行っています。この舞台では、歌や楽器演奏のほか、朗読やダンス、腹話術、漫談など演目があり、様々な表現・創作活動を行う市民の発表の場となっています。11月のシンポジウムは、音楽とともに福祉についてを考える会を催しています。

ワークショップ四街道

運営法人 社会福祉法人 千葉県視覚障害者福祉協会
所在地 四街道市鹿渡968-9
電話 043-424-2598
営業日時 月～金、第3土 8時45分～17時30分 利用者9時45分～15時

ワークショップ四街道は障がい者たちが通い働く場所です。一般就労になかなか結びつかない障がい者に、通所による就労の機会や生産活動の機会を提供し、自立支援や社会参加を促します。障がい種別も多岐にわたっていますが、それぞれの特徴をいかしてできることを補いながら、助け合って作業を行っています。

●リサイクル点字用紙の製品
ポチ袋（3枚入）／200円
A4封筒（5枚入）／200円
定形3号封筒柄あり（3枚入）／200円
手提げバッグ／100円 など
●販売場所（本部1階）
四街道市四街道1-9-3
視覚障害者総合支援センターちば

ユーズ

運営法人 株式会社ユーズ

所在地 四街道市大日 288-1 マルエイ第21ビル3F

電話 043-312-3053

営業日時 当社カレンダー参照 9時～17時 利用者10時～15時

令和2年6月に障害者就労継続支援A型の事業所として発足しました。

難病のある方や障害者の方と雇用契約を結び、職業訓練などの支援を行いながら一般就労に向けてスキルアップをめざします。

施設外でのお仕事の依頼、企業様の法定雇用率に対しても対応しておりますのでお気軽にお問合せ下さい。

<https://you-s.co.jp/>

●名刺印刷

100枚500円(税抜) 白黒・カラー印刷共に

●封筒印刷

100枚500円(税抜) 白黒・カラー印刷共に

※上記はPDFまたはaiデータご持参価格です。それ以外は別途要データ製作費(2000円～)

●Web又はお電話にてお問い合わせください。

地域活動支援センター(Ⅲ型) どんぐり工房

運営法人 特定非営利活動法人 希望

所在地 四街道市四街道1-6-11 田中ビル

電話 043-421-6645

営業日時 月～金(祝日休) 9時30分～15時

地域活動支援センター「どんぐり工房」は四街道市及び近隣在住の精神科ユーザーの皆さんに創作的活動・生産活動・地域社会との交流等のサービスを提供する場所です。いろいろなプログラムを通して、利用する皆さんが地域で生き活きと生活していけるように、支援していきたいと考えております。

●手工芸品(エコバック、エプロンなど)

●菓子(クッキー、ジャム、パンなど)

●販売場所

どんぐり工房で直売(平日10:00～14:30)

市役所入口(毎月第1・3火 11:00～13:30)

多機能型事業所まめの木

運営法人 特定非営利活動法人空いろのたね

所在地 四街道市旭ヶ丘4-15-7

電話 043-356-3870

営業日時 9時30分～16時



「皆が持ちつ持たれつ」の精神に基づいて、福祉・介護・就労などの支援活動を行い、年齢や障害の有無にかかわらず住み慣れた地域で暮らし続けられるために活動をしています。週4～5回行う生産活動では、畑でさつま芋やニンニク、ポップコーンなどの野菜を栽培しています。また、収穫した野菜を加工し販売会を開催し販売しています。

●自家農園産無農薬野菜の加工品

ペペロンチーノオイル

焼き芋のポタージュ

ポップコーン(キャラメル味、カレー味)

●販売場所

まめの木店頭販売会(不定期)

その他イベント出店(不定期)

障がい者就労・ 生活さぽーとピース

運営法人 特定非営利活動法人みのり福祉会

所在地 四街道市鹿渡900-3

電話 043-424-1004

営業日時 月～土/ 8時30分～17時30分



平成21年2月、障がいのある方一人一人が「誰もが」「ありのままに・その人らしく」「地域で暮らすことができる」地域社会の実現を図るために特定非営利活動法人みのり福祉会を設立いたしました。施設外就労として企業で働く日や、菓子製造、販売、地域新聞の折り込み、配布、内職作業などを行っています。

●焼菓子

●雑貨(デニムリース、トートバッグなど)

●販売場所

焼菓子は市役所入口(毎週火、不定期で木)の他に市内5か所、市外1か所に納品
雑貨などはイベント出店時に販売
上記以外に個別オーダーでの制作も可

青空協同組合

運営法人 特定非営利活動法人 みのり福祉会
所在地 四街道市栗山740番地
電話 043-290-9878
営業日時 月～金（第2土） 8時30分～17時30分



青空協同組合は平成24年8月に開設し、今年で9年の月日が経ちました。青空協同組合は障害のある方の働く場、次なるステップへの場、自分の力や思いを発揮し、自分らしく輝ける場所でありたいと思っております。利用する方が主役で日々充実した生活を送れるようにしっかりと準備できる事業所でありたいと思います。

<https://www.minoriwelfare.com/>

- 季節の野菜
- ハンドメイド雑貨（籠・バッグなど）
- 販売場所
青空協同組合で直売
市役所入口（毎月第2・4火 11:00～13:30）

季節の野菜はスーパーマルエイ各店舗、ふくろう佐倉、わくわく広場四街道でも販売しています。

グループホーム みのりほーむ

運営法人 特定非営利活動法人 みのり福祉会
所在地 佐倉市新白井田8-3
電話 043-462-6424
営業日時 毎日

みのりほーむでは利用者の皆さんが自主的にルールを決めて暮らしています。そのため、起床就寝などの時間は定めていません。翌日の仕事や作業所等に問題が無いように利用者一人一人が自主的に考えて生活しています。夜遅く帰宅される利用者さんはドアの開け閉めを静かにするなどの他の利用者への「思いやり」を持って過ごしています。

<https://www.minoriwelfare.com/>

余暇活動では、利用者さんがそれぞれ好きなことをしています。ラーメンが好きな利用者さんはラーメン特集の本を開いて気になったお店に時間をかけて食べに行ったりしています。アジのなめろうが食べたいと思った方は東京湾へ釣りに行き、釣れたアジをほーむの夕食で振舞います。そんな事ができるグループホームが「みのりほーむ」です。

児童デイサービスそら

運営法人 特定非営利活動法人 みのり福祉会
所在地 四街道市鹿渡900-3 鹿渡ビル
電話 043-497-6733
営業日時 月～金 放課後～17時30分 土（月3回開所） 長期休暇10時～16時

そらでは自立に向けて生活力を育むための活動を行っています。調理活動では、身支度の大切さや衛生面に気を配れるように、環境を整えることも伝えていきます。低学年から取り組むことで持っている力を少しずつ伸ばしていきます。また週に一回、美術専門の職員による「美術教室」を開き、絵を描くことで得られる「創造力」や「伝える力」「自己表現」

<https://www.minoriwelfare.com/>

を育み心の成長を促します。長期休みには、公共交通機関の利用でマナーを学んだり、買い物で金銭感覚を身に付けてたりできるような様々な余暇活動も取り入れています。

らしんばん

運営法人 特定非営利活動法人 みのり福祉会
所在地 四街道市栗山740 青空協同組合2階
電話 043-308-5808
営業日時 月～金 8時30分～17時30分（祝祭日、年末年始は休業）

障がいのある方々の環境の向上を図る事業を行い、障がいのある方が、地域で自立して生活できるように支援することを目的として創りました。障がいのある方が、地域で生活するためには、①相談窓口の確保、②「住まい」の確保、③雇用、就労、通所施設などの「日中活動」の確保、④ホームヘルパーなどの「個別的支援」の確

<https://www.minoriwelfare.com/>

保が必要不可欠です。障がいのある方一人ひとりが「誰もが ありのままに その人らしく 地域で生活をする」ことを実現させるため、当法人は尽力して行きます。無いものは「創る」、工夫し「やってみる」。試行錯誤の中から新たなニーズに 応えて参ります。「利用する人」「職員」の壁を超えて、共に力を発揮しましょう。

はちみつ

従たる事業所 つきのわ

運営法人 特定非営利活動法人 はちみつ

所在地 四街道市亀崎272番地

電話 043-372-7933

営業日時 月～金(隔週で土) / 8時30分～17時15分



私たちは、四街道市やその近隣の地域に住んでいる方で、とりわけ重い知的障がいがある方たちの日中活動の場を創るため2016年にNPO法人はちみつを設立し、翌年2017年4月から生活介護『はちみつ』を開所致しました。法人の事業理念として、障がいがあっても、「地域で・普通の・人としての・生活を！」送ることができるよう支援するという事と、「地域の中で・地域のために・地域に必要とされる(愛される)」施設を目指して取り組

んでおります。

「はちみつ」では、利用者が地域の中で仲間と過ごし、共に側楽(はたらき)、笑いあえる生活を送ることができるよう支援し、利用者の生活を豊かにしていくだけに留まらず、地域も一緒に豊かになっていくことが地域福祉、社会福祉であると考え、日々地域に根差した活動を展開しております。



<https://www.hachimitu83.com>



●亀崎箒『KAMEZAKI BROOM』

千葉県四街道市亀崎で昔から作られている竹箒です。孟宗竹の竹枝を、匠の技で一本いっぽん丁寧に組んで作ります。掃き心地は言葉では言い表せない程素晴らしく、壊れるといった心配もほとんどありません。昔は大勢いた竹箒職人も今では数えるほどになりました。私たちは、職人さんに箒づくりを教わり、利用者さんと一緒に一本いっぽん仕上げしております。この亀崎箒に『いつか空も飛べるはず』と願いを込めて、これからも継承していきます。



●木工製品

木材は四街道産の木を使い、ベンチ・椅子・ペン立てなどを作っています。オーダーも承ります。



●さをり織製品

好きな色の糸を選んで織りあげます。丁寧な手仕事を大切にしています。若い世代にも注目されている織物です。

●地域ボランティア

これまで保育園、レストラン、子どもルーム、プレーパークなどで草取りや清掃活動や、農家さんのお手伝いなどを行っています。

●販売場所

べーぐるきっちゃん(四街道駅前)
小さな雑貨屋 Lucy(もねの里)
ママの手作りお菓子 yummy(大日)
はちみつへ直接注文OK



●イラスト提供

はちみつのアートを地域の方の製品やイベントチラシで使用して頂きました。

地域の中で。地域のために。 地域に必要とされる(愛される)方法を目指して

私たち特定非営利活動法人はちみつは、地域やたくさんの方々に、当施設のことや、障がい福祉を知ってもらうための啓蒙活動の一環としてイベントを企画しています。



ハチみつ

2019年秋、四街道プレーパークどんぐりの森で開催しました。当法人の他にも地域の仲間たち全12団体が出店し、小さなお子様～シニアの方まで約200名が来場くださいました。毎年開催する予定ですが、2020年、2021年はコロナの影響で開催を見送りました。



Honeycome!!
2021

2021年11月30日～12月5日 四街道市民ギャラリーで開催した初めての作品展です。はちみつで日々生まれる「ありのままのアート」を展示し、約400名の方にご来場いただきました。毎年開催予定です。

イベントなどへの出店



四街道市文化センターで毎年開催される「大きなテーブル(6月頃)」や「ちばユニバーサル農業フェスタ(秋頃)」に出店しています。はちみつ以外にも仲間たちが多数出店し、地域の方や福祉施設・団体の交流の場となっています。

みんなが笑顔

① 視覚障害のある人への配慮

視覚障害とは 視覚障害のある方には、知識獲得や経験をひろげていく制限/体を動かすこと・動きまわること・歩くことの制限/日常生活の中で、人や物や環境との関係を把握のうえでの制限があります。これらを克服するために、白い杖を使った歩行訓練・ADL訓練・生活技術を獲得するための訓練等をされています。コミュニケーションの手段として、点字を使用します。最近では、音声ソフトのついたパソコン、電子機器の活用で、便利になり、大きく世界を広げられるようになりました。

視覚障害者のための街づくりも大切です。音声信号機、点字誘導ブロック、駅のプラットフォームの可動柵などは、きちんと設置されなければなりません。

視覚障害のある人を見かけたら 視覚障害のある人は、周りの人との身体的距離が取りづらい、レジ等の順番待ちをする位置を把握しづらい、買い物で品物を選ぶ際は実際に商品に触れて確かめる必要があることを理解されない等の困りごとがあります。

困っている視覚障害のある人を見かけたら、積極的に声掛けをしてください。その際は初めに自己紹介をし、手引きする手の甲で視覚障害者の手の甲に接触してください。手引き歩行の基本姿勢は、支援者のひじのあたりを持ってもらい、視覚障害者の腕の角度は直角にします。視覚障害者の半歩前を歩くのが基本です。

盲導犬は信号機の色別が困難なため、信号などで盲導犬を連れている人を見つけたら、信号が青になっていることを伝えてください。

② 聴覚障害のある人への配慮

聴覚障害とは 聴覚障害のある人は、周りの人とのコミュニケーションを取る際に、相手方の口の動きや表情を参考にしています。新しい生活様式のもとでマスクを着用されている人が多くなり、コミュニケーションを取りづらい状況となっています。

聴覚障害のある人を見かけたら 聴覚障害者は警笛等が聞こえにくいので、道路を歩くときは聞こえる人が車道側を歩くようにしましょう。会話の際は相手方の口の動きや表情を見て話を理解することもあるため、適切な距離を確保できる場合等には、口の動きが見えるようマスクを外したり、マスクに代えて、フェイスシールドや透明アクリルシート等を使用しましょう。

③ その他障害のある人への配慮

知的障害、精神障害、その他障害のある人の中には、感覚過敏や熱中症リスクが高いなど、障害や体質によってマスク等を着用することが難しい方、周りにいる人との適切な距離を確保することが難しい方もいらっしゃいます。

周りの人から適切な距離の確保や声かけ等をお願いします。

が"す"ご"せる"ように

④ ヘルプマーク

ヘルプマークとは 義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮等を必要としていることを知らせることができるマークです。

ストラップ型ヘルプマークの使い方 ストラップ型になっているので、カバン等に取り付けて使用します。マーク本体の裏面に貼付できるシールを同封しており、シールには、氏名や連絡先、手助けして欲しいこと等が記入できます。より詳細に多くの情報を記載できるヘルプカードと併用し、ストラップ型ヘルプマークはカバンの外に、ヘルプカードはカバンの中に入れて持ち歩く等、工夫して携帯してください。

マークを携帯している人を見かけたら ストラップ型になっているので、カバン等に取り付けて使用します。マーク本体の裏面に貼付できるシールを同封しており、シールには、氏名や連絡先、手助けして欲しいこと等が記入できます。より詳細に多くの情報を記載できるヘルプカードと併用し、ストラップ型ヘルプマークはカバンの外に、ヘルプカードはカバンの中に入れて持ち歩く等、工夫して携帯してください。



助け合いのしるし
ヘルプマーク

⑤ 障害者虐待防止

障害のある方への虐待はあってはならないことです。「障害者虐待防止法」ではすべての人に障害のある人への虐待を禁止しています。

虐待には、身体的・性的・心理的・経済的虐待、放棄・放任（ネグレクト）があります。

障害のある人が、自分のされていることが虐待だと認識できなかつたり、自分から被害を訴えられなかつたりすることがあります。また、家族や施設職員などが自分のしていることが虐待だと気付いてい

ない場合や、しつけや指導の名の下に不適切な行為が続く、虐待につながることもあります。

虐待を受けた人や、虐待に気付いた人は、四街道市障害者虐待防止センター（障害者支援課内設置）

043-421-6122にご連絡ください



特定非営利活動法人はちみつについて

私たち、『特定非営利活動法人はちみつ』（以下、当法人）は、平成28年4月に設立され、1年の準備期間を経て平成29年4月から、四街道市で『指定生活介護はちみつ』を開所いたしました。設立されてから、6年が経とうとしておりますが、『地域の中で、地域のために、地域に必要とされる（愛される）施設を！』と、理念を掲げ歩んでまいりました。この度、令和3年10月26日に『社会福祉法人よつかいどう福祉会』が設立されました。当法人は、令和4年9月1日をもって、『社会福祉法人よつかいどう福祉会』に法人名を変更致します。法人名や、活動場所は変わりますが（四街道市内は変わりません）、理念や活動内容は引継ぎ行ってまいります。これまでたくさんの方々からのご支援、ご協力を賜りましたことを、深く感謝申し上げます。このような節目の年に『はちみつぶんぶん』が発刊されたことを大変嬉しく思います。四街道市で活動している多くの団体を、地域の皆様方に知っていただけたら幸いです。

はちみつぶんぶん

2022年3月1日発行

発行者 特定非営利活動法人 はちみつ
所在地 四街道市亀崎272番地
電話 043-372-7933

デザイン・制作 株式会社両見英世デザイン事務所
イラスト・題字 生活介護はちみつ

この冊子は、2020年度コロナに負けるな！コープみらい・市民活動助成金で作成しました

